

のうね

人と地域をつなぐ情報誌

春号

Nounne+

PLUS

CONTENTS

- ✿ トピックス…P.2
- ✿ フォトアルバム あの目あの時あの場所で…P.3
- ✿ 付録一のうねっ子♡安心・安全♡マップ

小さな春 みい〜つけた!
菅原神社(乗兼区)の梅の花が咲きは
じめ、春の訪れを告げていました

令和2年度 長畝地区区長会役員

会 長	奥田 光雄 (下長畝区)
第1ブロック長	前川 謙市 (坪江区)
第2ブロック長	小角 和男 (女形谷区)
第3ブロック長	樋口 清隆 (城北1区)
第4ブロック長	北川 政幸 (田屋区)
第5ブロック長	西田 幸治 (小黒区)

更なる長畝地区発展のため、
一年間よろしくお願いいたします。



聖火リレー走者に古谷さん 丸岡城下を5月31日に駆け抜ける

東京オリンピックピック2020の聖火リレー走者として、坂井市を駆け抜ける人が、長畝地区から選ばれた。上長畝の古谷輝美さん、その人だ。

火でつなぐ。古谷さんは、丸岡城く丸岡運動公園の区間の聖火ランナーに選ばれ、5月31日(日)にその大役を果たす。古谷さんは、高校2年の時、800M走で福井県代表として昭和43年に開催された福井

国体に出場するなど、陸上選手として輝かしい成績を持ち、また、長年、スポーツ推進員や体育指導員、丸岡陸上スポーツ少年団の指導者として活躍してきた。

そんな古谷さんは、聖火ランナー募集のチラシを見て、東京オリンピックに少しでも携わりたいという思いに駆られ、「二度とないチャンス。みんなと一つになつて走りたい」と応募。当選通知が届いたときは、「両手をあげてやった」と喜び、宝くじが当たったような気持ちだった」と顔をほころばせる。

聖火リレーに向けて「坂井市民の代表として、聖火の炎

をオリンピックにつなげたい」と話す古谷さん。「聖火の炎を見にきてくれた人に、明日への勇気を感じてもらえるよう、笑顔で走りたい」と話す。聖火リレー走者として意気込みを語る古谷さんからは、決して消えない聖火の炎以上の陸上と五輪への熱い思いを感じた。

古谷 輝美
(ふるたに てるみ)
上長畝在住 66歳。
長年、長畝地区体育協会や古城マロン実行委員会など地域の体育振興に貢献してきたからこそ、東京五輪に携わる思いもひと塩。



【応募方法】 応募用紙に必要事項をご記入のうえ

編集後記

▼今年はずいぶん暖冬で雪はほとんど見ませんでしたね。今は『新型コロナウイルス』が世間を騒がせています。マスクや除菌用品は店頭から消え、人々は息を潜めて流行が治まるのを待っています。それでも穏やかな春の日差しと満開の桜の中で、新学期を迎えようとしています。子ども達の輝く笑顔に、いつだったか初々しい気持ちを感じ出し、日々を過ごしていきたいものです。(K・N)